学校番号	３１４

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーション I	4	1	Power On ENGLISH COMMUNICATION I Revised WORK BOOK システム英単語 5訂版

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コミュニケーション英語Ⅰでは「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」（やり取り）、「話すこと」（発表）、「書くこと」の五つの領域を中学英語で学んだことを土台にさらに深く学習します。すべての授業において語彙力だけでなく、表現力もつけてもらいます。そのためには予習が必須になります。どこが理解できてどこは分からなかったかということを整理しておく。そのうえで授業に参加することで、単元の理解が深まるばかりではなく自分の疑問や解釈を授業で聞き比べることで英語そのものの理解度も深まります。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることが出来る。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞くことが出来る。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことが出来る。	・説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をすることが出来る。また、聞き手に伝わるように音読や暗礁を行うことが出来る。 ・論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読むことが出来る。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読むことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめることが出来る。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことが出来る。 ・説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話すことが出来る。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、結論をまとめ、発表を行うことが出来る。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことが出来る。 ・説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話すことが出来る。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことが出来る。 ・論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら書くことが出来る。 ・説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように書くことが出来る。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の 4 技能に関する知識だけでなく、新出・既習事項を用いて自ら発信する力を養う。知識・技能を身につけるとともに、英語を通して異文化などを理解することができる力を育む。	英語についての知識をだけでなく、実生活に則した適切な運用ができる力や、異国の文化やその背景にある事柄などを理解することができる力を育む。	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を育む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1 Japan‘s New Tourism Lesson 2 Light from Creatures	聞くこと	a: 新出事項を含む文を聞いて、物語の全容を理解することができる。 b: 新出事項を含む文を聞いて理解することができる。 c: 新出単語を聞き、意味を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		読むこと	a: 既習・新出事項を活用して本文を読み、内容を理解できる。 b: 新出事項を活用し、文の内容を理解できる。 c: 新出事項を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		話すこと （やり取り）	a: 新出事項を活用して、テーマに沿った会話で意見を述べられる。 b: テーマに沿った会話の中で意見を述べることができる。 c: 新出語彙・文法事項を使った会話をしようとしている。	スピーキングテストなど
		書くこと	a: 新出事項を活用して、テーマに沿った文章を書くことができる。 b: テーマに沿った文を書くことができる。 c: 新出語彙・文法事項を用いて文を書こうとしている。	定期考査 小テストなど
	中間考査			
	Lesson 3 One Small Goal at a Time Lesson 4 Miniature Life	聞くこと	a: 新出事項を含む文を聞いて、物語の全容を理解することができる。 b: 新出事項を含む文を聞いて理解することができる。 c: 新出単語を聞き、意味を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		読むこと	a: 既習・新出事項を活用して本文を読み、内容を理解できる。 b: 新出事項を活用し、文の内容を理解できる。 c: 新出事項を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		話すこと （やり取り）	a: 新出事項を活用して、テーマに沿った会話で意見を述べられる。 b: テーマに沿った会話の中で意見を述べることができる。 c: 新出語彙・文法事項を使った会話をしようとしている。	スピーキングテストなど
		書くこと	a: 新出事項を活用して、テーマに沿った文章を書くことができる。 b: テーマに沿った文を書くことができる。 c: 新出語彙・文法事項を用いて文を書こうとしている。	定期考査 小テストなど
	期末考査			
2	Lesson 5 Banana Paper Lesson 6 Patterns in Human Behavior	聞くこと	a: 新出事項を含む文を聞いて、物語の全容を理解することができる。 b: 新出事項を含む文を聞いて理解することができる。 c: 新出単語を聞き、意味を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		読むこと	a: 既習・新出事項を活用して本文を読み、内容を理解できる。 b: 新出事項を活用し、文の内容を理解できる。 c: 新出事項を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		話すこと （発表）	a: 新出事項を活用して、テーマに沿った会話で意見を述べられる。 b: テーマに沿った会話の中で意見を述べることができる。 c: 新出語彙・文法事項を使った会話をしようとしている。	スピーキングテストなど
		書くこと	a: 新出事項を活用して、テーマに沿った文章を書くことができる。 b: テーマに沿った文を書くことができる。 c: 新出語彙・文法事項を用いて文を書こうとしている。	定期考査 小テストなど
	中間考査			
	Lesson 7 No Plastic or No Future Lesson 8 Oh My Cod!	聞くこと	a: 新出事項を含む文を聞いて、物語の全容を理解することができる。 b: 新出事項を含む文を聞いて理解することができる。 c: 新出単語を聞き、意味を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		読むこと	a: 既習・新出事項を活用して本文を読み、内容を理解できる。 b: 新出事項を活用し、文の内容を理解できる。 c: 新出事項を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		話すこと （やり取り）	a: 新出事項を活用して、テーマに沿った会話で意見を述べられる。 b: テーマに沿った会話の中で意見を述べることができる。 c: 新出語彙・文法事項を使った会話をしようとしている。	スピーキングテストなど

		書くこと	a: 新出事項を活用して、テーマに沿った文章を書くことができる。 b: テーマに沿った文を書くことができる。 c: 新出語彙・文法事項を用いて文を書こうとしている。	定期考査 小テストなど
	期末考査			
3	Lesson 9 Is Esoprts a Real Sport? Lesson 10 Never Too Late to Learn and Relearn	聞くこと	a: 新出事項を含む文を聞いて、物語の全容を理解することができる。 b: 新出事項を含む文を聞いて理解することができる。 c: 新出単語を聞き、意味を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		読むこと	a: 既習・新出事項を活用して本文を読み、内容を理解できる。 b: 新出事項を活用し、文の内容を理解できる。 c: 新出事項を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		話すこと （発表）	a: 新出事項を活用して、テーマに沿った会話で意見を述べられる。 b: テーマに沿った会話の中で意見を述べることができる。 c: 新出語彙・文法事項を使った会話をしようとしている。	スピーキングテストなど
		書くこと	a: 新出事項を活用して、テーマに沿った文章を書くことができる。 b: テーマに沿った文を書くことができる。 c: 新出語彙・文法事項を用いて文を書こうとしている。	定期考査 小テストなど
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度